

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

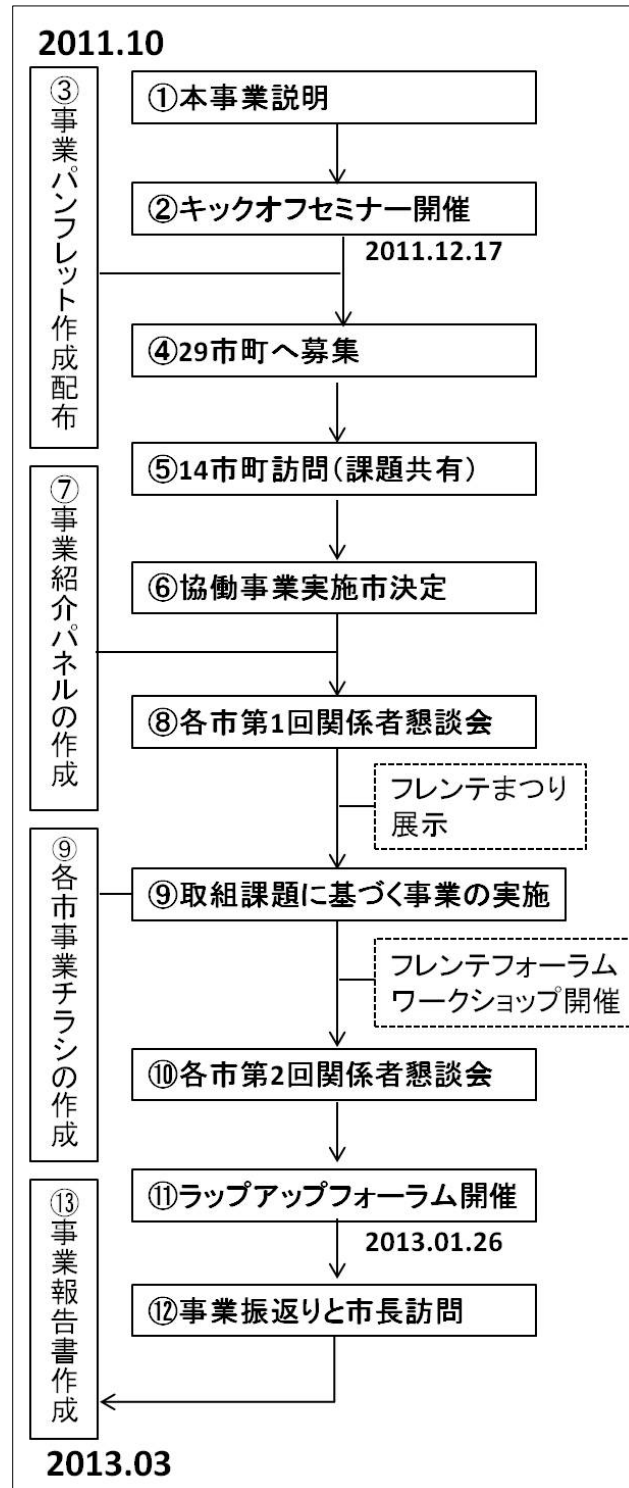
1 事業実施内容

モデル事業名	「意志決定の場への女性の参画」促進応援プラン ～寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり～	
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠	
事業実施主体名	男女共同参画みえネット	
事業概要	県内における男女共同参画を推進するとともに、特に意思決定の場への女性の参画を促進することを目的に、県内市町を訪問し推進状況を聞き取る中で、市町の課題を共有し、地域の多様な主体と連携しながら「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を進める体制をつくり、課題解決に向け地域別懇談会等を開催し参加5市それぞれが「5つのモデル事業」として今後の取り組みに繋げることができた。	
実施期間	平成23年度	平成23年10月1日から平成24年3月31日まで
	平成24年度	平成24年4月1日から平成25年3月29日まで
支援額 (注釈参照)	平成23年度	1,245,600円
	平成24年度	1,706,200円 【内訳】講師謝金 460,820円 旅費 62,508円 使用料及び賃借料 94,800円 印刷製本費 472,290円 人件費 604,800円 通信運搬費 14,550円 消耗品費 122,960円 事務局費 15,000円 食糧費 19,500円 雑費 9,990円 合計 1,877,218円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	●協働事業参加組織	
	三重県・5市の男女共同参画担当部署・三重県男女共同参画センター・四日市男女共同参画センター・伊賀市男女共同参画センター・三重大学男女共同参画推進室 「男女がいきいきと働いている企業」知事表彰受賞企業・県が育成した「人財」・地域で活動している個人・企業	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
	H23年10月20日	男女がいきいきと働いている企業知事表彰受賞・認証企業説明会
	10月26日	NPO法人四日市男女共同参画研究所と四日市市への説明と協力依頼
	10月28日	市町男女共同参画担当者研修での説明
	H24年1月13日	伊賀市事業説明
	1月25日	名張市事業説明
	2月14日	津市事業説明
	2月16日	松阪市事業説明
	2月17日	亀山市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
	2月18日	四日市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
	2月20日	鳥羽市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
2月20日	志摩市市町協働実施に向けて課題の聞き取り	

2月21日	伊勢市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
	伊賀市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
	名張市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
2月23日	桑名市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
	津市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
2月27日	菰野町事業説明
	朝日町事業説明
	川越町事業説明
3月2日	万協製薬・多気町事業説明
3月8日	松阪市市町協働実施に向けて課題の聞き取り
3月14日	四日市市関係者懇談会打合せ
4月12日	亀山市関係者懇談会打合せ
4月19日	伊勢市関係者懇談会打合せ、
	志摩市関係者懇談会打合せ
4月20日	松阪市打合せ
4月26日	伊賀市関係者懇談会打合せ
5月14日	亀山市関係者懇談会打合せ
5月22日	伊勢市関係者懇談会打合せ
	志摩市関係者懇談会打合せ
5月28日	伊賀市関係者懇談会打合せ
7月13日	伊賀市関係者懇談会打合せ
7月19日	亀山市チラシ作成等打合せ
	伊勢市チラシ作成等打合せ
8月22日	伊勢市事業課題詳細について打合せ（三重大学にて）
8月23日	亀山市パンフレット作成にかかる事業打合せ（三重大学にて）
11月16日	四日市市アンケート集計結果を四日市市・NPO法人四日市男女共同参画研究所と分析協議
12月9日	四日市市アンケート集計結果を四日市市・NPO法人四日市男女共同参画研究所と分析協議
H25年2月25日	亀山市協働事業の振返（担当者）と副市長との懇談
3月4日	志摩市協働事業の振返（担当者）と市長との懇談
3月6日	四日市市協働事業の振返（担当者）と市長との懇談
3月11日	伊勢市協働事業の振返（担当者）と市長との懇談
3月15日	伊賀市協働事業の振返（担当者）

下記の図は、平成23年10月から平成25年3月までの事業の流れを示したものである。このような流れにそって事業を実施した。

事業フローチャート



・左側の縦書き部分③、⑦、⑨、⑬及び横書き①から⑥までは、「みえネット」の事業内容。
 ・横書き部分⑧から⑫は、みえネットと本事業に参加した5市と共に実施したものである。

事業内容

このフローチャートの各項目の内容について、以下に記載する。

- ① 本事業の趣旨及びスケジュール、実施体制等について説明（平成23年10月）
 - ・「市町男女共同参画担当職員」研修会にて説明。
 - ・「男女がいきいきと働いている企業」知事表彰企業へ説明。
 - ・三重県男女共同参画センターをはじめ、四日市市、伊賀市等、拠点施設を有する

市に説明)

② キックオフセミナーの開催 (平成 23 年 12 月 17 日)

事業のスタートにあたり、「キックオフセミナー」を開催し、関係者を含む一般県民に事業を広く周知し、気運を高めるとともに協力の輪を広げた。

- ・ 講演：演題「新たな市民社会の構図と男女共同参画」
- ・ 講師 ニッセイ基礎研究所主任研究員 土堤内 昭雄さん
- ・ トークセッション：県民、企業、市職員、団体職員
コーディネーター：三重大学准教授 石阪督規さん
コメンテーター：土堤内昭雄さん

パネリスト：

- 山崎まゆみさん 三重県男女共同参画推進サポーター
- 松浦信男さん 万協製薬(株)代表取締役社長
- 鈴木光代さん 伊勢市環境生活部市民交流課副参事
- 柏木はるみさん 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長

参加者人数 87 人



- ③ 事業パンフレット作成配布（平成 24 年 1 月 25 日作成）、合わせて「事業ロゴ」を作成。
 事業パンフレットを作成し、新しい公共や事業の趣旨、スケジュール、実施体制等、事業全体の内容を明示し関係者をはじめ県民に配布した。
 また、「事業ロゴ」を作成し、事業パンフレットをはじめ、5 市のチラシ、紹介パネル、各市関係者懇談会会場の横断幕、縦看板などに広く活用した。

事業パンフレット



事業ロゴ



三重県の花「花ショウブ（アイリス）」をモチーフに、花卉で、三重県・人財（県民）・表彰企業・市町・みえネットと多様なステークホルダーを表現している。

- ④ 29 市町へ募集。（平成 24 年 1 月 30 日送付）
 本事業の詳細を説明し、協働実施希望の市町を募集。
- ⑤ 14 市町訪問。（平成 24 年 2 月～3 月）
 本事業を希望する市及び関心のある 14 市町を訪問し、事業説明を行うとともに、協働実施に向けての課題を共有。
- ⑥ 協働事業実施市決定。（平成 24 年 3 月 14 日）
 平成 24 年度に入り 1 市辞退により、四日市市、亀山市、伊賀市、志摩市、伊勢市の 5 市に決定。
 各市の取組課題とみえネットの中心的な応援内容を確定し、第 1 回関係者懇談会に

	5 市の取組課題	みえネットの主な応援内容
四日市市	自治会への女性の参画を進める	自治会アンケート調査の集計・分析
亀山市	地域に向けた意識啓発	一般向け男女共同参画啓発パンフレット作成支援
伊賀市	住民自治協議会への女性の参画を進める	「地域の女性力を考える」研修会開催支援
伊勢市	企業との連携で男女共同参画を進める	企業向け啓発講演会開催支援、関係資料提供
志摩市	地域に向けた意識啓発	啓発講演会開催支援

向け打合せを行った。並行して、各市の事業チラシを作成した。

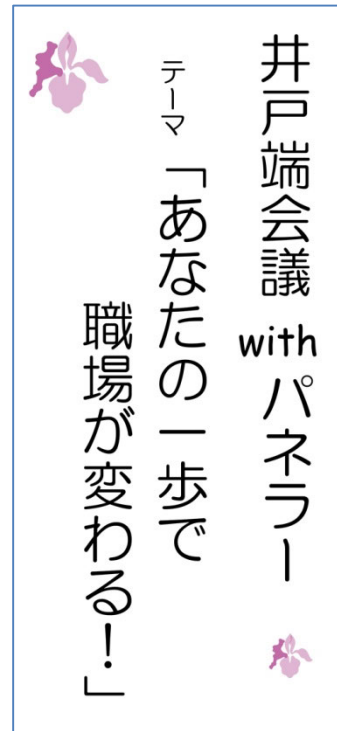
各市の取組課題とみえネットの主な応援内容

みえネットの応援内容については各市に共通するものとして、関係者懇談会等の会場設営における看板・垂れ幕の作成、生花・湯茶コーナー設置、受付、司会進行、ファシリテーター等運営協力を行った。

チラシ例：伊賀市



看板例：伊勢市



⑦ 事業紹介パネルの作成。

実施5市間の情報共有のツールとして、また、県民に本事業の経過を報告するため各市の事業進捗に関する内容のパネルを作成し、リレー方式で各会場において展示を行った。具体的には、各市の第1回・第2回関係者懇談会のパネル、事業紹介パネルや「202030」に関する啓発パネルなどを作成し、各市会場やフレンテフォーラムなどに展示した。各市のモチベーションを高め、県民との情報共有としての効果があった。

パネル例：亀山市パネル

亀山市
平成24年度男女共同参画講座

平成24年12月15(土)13:00 - 16:00
総合保健福祉センター 2階大会議室

第1部・講演会 石坂准教授 東京未来大学
「男女が生き生き輝くまちづくりを目指して」
・ワールドカフェ
「心 ゆたかな 暮らし」

第2部 第2回亀山市関係者懇談会

伊藤教育長 石坂准教授

男女みえネット 伊藤代表

三重県 古金谷総括室長

亀山市 観所文化部長

男女みえネット 中根 地域世話人 アクティブ亀山会員

男女みえネット 石原 地域世話人 アクティブ亀山会員

集合写真

⑧ 各市第1回関係者懇談会を開催

第1回関係者懇談会は、四日市市（平成24年3月23日）を皮切りに、5月21日亀山市開催に続き、伊勢市、志摩市、伊賀市（9月4日）と順次開催した。また、伊賀市においては、市事業とセットで開催された。みえネット及び当該市からの本事業の説明をもとに関係者相互の理解を深めた。また、事業実施に対する参加者から応援メッセージを紹介した。

第1回関係者懇談会例：伊賀市

伊賀市関係者懇談会

平成24年9月4日(火)13:00 - 14:30
ゆめぼりすセンター 2階 大会議室

- ・参加人員：約75名
- ・挨拶・経過説明
- ・参加者自己紹介
- ・伊賀市の経過報告、取組提案
- ・応援提案



伊賀市 大橋課長



男女共同参画
みえネット 伊藤代表



三重県 鳥井課長



司会 伊賀市人権擁護
委員協議会 森川さん



懇談会風景



集合写真

⑨ 取組課題に基づく事業の実施

●各市における事業実施内容

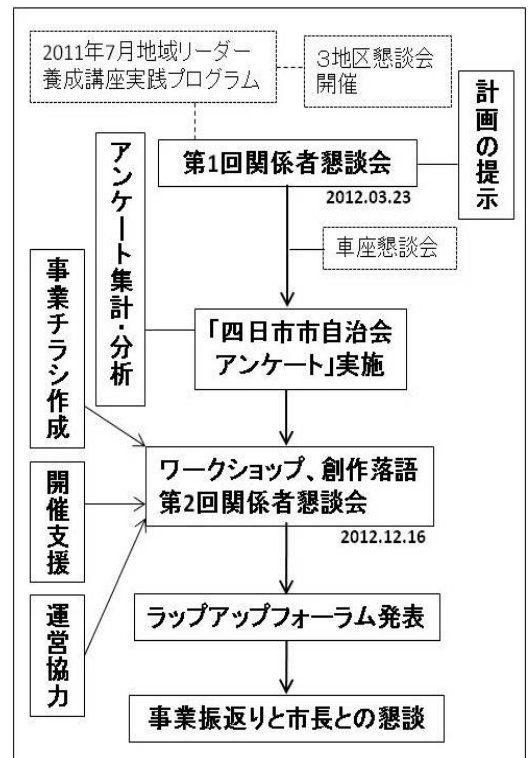
5市の事業の流れと実施内容をフローチャートで示した。この5市の実践は、特色ある5つのモデル事業となった。

(1) 四日市市

取組課題：自治会への女性の参画を進める

四日市市は、自治会への女性の参画を進める事を課題とし、女性自治会長への聞き取り調査、市内全自治会長へのアンケート調査を実施し、女性自治会長を増やすための課題の整理と今後の取組みの検討をした。先行して、「女性の活躍が期待される身近な自治会」への取組も行われており、本事業と合わせて推進することとした。7月～8月に、市内全自治会長（730）へのアンケート調査を実施した。

みえネットは、「自治会アンケート」の項目の作成を応援し、集計、分析を担当した。集計結果の分析については2回にわたり合同会議を実施し、平成24年12月16日開催のワークショップ&ラップアップセミナーにおいて発表された。また、アンケート結果は各自治会、市民センター、行政に報告が



行われた。市の提示した計画にそって、順調に事業が進められており、次年度においては、地区市民センターごとに関係者の懇談会が開催される予定である。

みえネットの応援内容

- ・「四日市市自治会アンケート」の集計・分析、資料等の作成
(自治会数730、回答467、回答率64%)
- ・事業チラシ作成(1000部)
- ・関係者懇談会会場設営(縦横看板作成、生花、湯茶コーナー設置)
- ・みえネット作成パネルの展示
- ・関係者懇談会運営協力(受付、アドバイザー等)

第1回関係者懇談会

日時：2012年3月23日 19:00-20:30

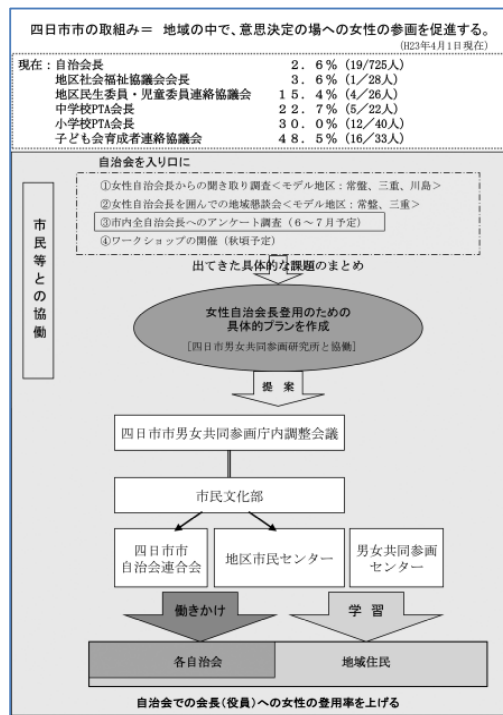
場所：四日市市 本町プラザ

内容：みえネット事業趣旨・経過説明、参加者自己紹介、四日市市の経過と取組提案、参加者による応援提案等意見交換、今後のスケジュール

参加者：はもりあ四日市人材リスト登録者、四日市男女共同参画研究所、三重大学男女共同参画推進室、(財)食品分析開発センターサナテック
四日市市男女共同参画課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：32名

四日市市の具体的取組プラン



第1回関係者懇談会の様子



ラップアップセミナー&ワークショップ、第2回関係者懇談会

地域社会に女性の力を「自治会で女性の活躍をすすめるために」

日時：2012年12月16日 13:00-17:00

場所：四日市市 本町プラザ

内容：第1部 ・13:30-15:30 創作落語「ぼじていぶ・あくしよん」
千金亭 値千金さん

・ワークショップ

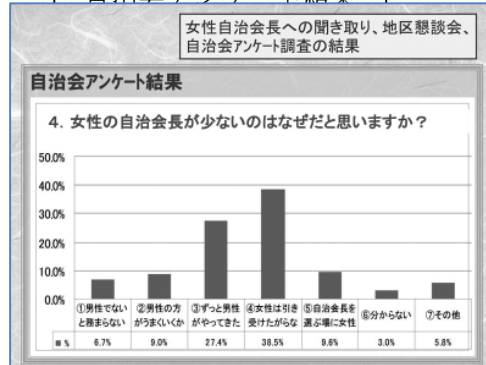
第2部 15:40-16:10 第2回関係者懇談会 取組報告

参加者：はもりあ四日市人材リスト登録者、四日市男女共同参画研究所、三重

大学男女共同参画推進室、市内自治会会長、桑名市役所職員、飯南高校、地区自治防災隊、三重の女性史、地区市民センター地域マネジャー、四日市市男女共同参画課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど、
参加人数：第1部52名、第2部37名

創作落語「ぼじていぶ・あくしょん」

自治会アンケート結果



第2回関係者懇談会参加者

ワークショップ



・ラップアップフォーラム発表

発表題：「「202030」に向けてもっと地域に女性の力を～身近な自治会から～
四日市市の取り組み報告」

発表者：四日市市男女共同参画課 伊藤佳代課長
四日市男女共同参画研究所 小橋和子さん



- ・事業振返りと市長との懇談（平成25年3月6日）
四日市市担当者、関係者、みえネットが本協働事業の振返りを行い、来年度への展望を話し合った後、四日市市長へ事業報告を行い懇談した。



＊四日市市の「成果と課題」

○成果

- ・必要性を感じながらも取組にくかった課題に、「みえネット」との協働により正面から思い切って進めることが出来た。
- ・四日市市が提示した明確な計画に沿って着実に進めることが出来た。
- ・四日市男女共同参画研究所との協働により、質の高い効果的な事業が実施された。
- ・事業実施の過程において、女性の自治会長誕生、審議会委員の女性登用率も 30% を超えるなど新しい動きがみられた。

○課題

- ・企業との連携を進め、協働体制を強化する。

(2) 亀山市

取組課題：地域に向けた意識啓発

亀山市は、平成 20 年に中学生向け男女共同参画啓発パンフレットを作成した。

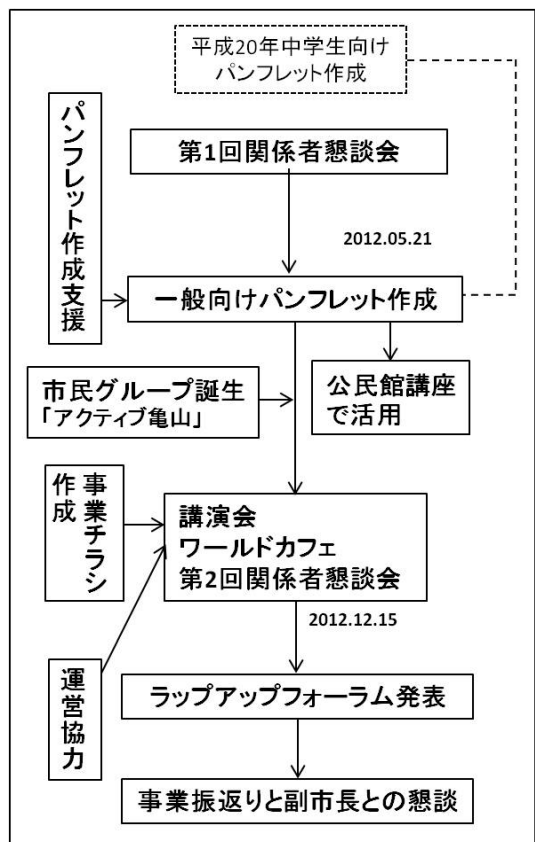
これをベースに、今回の事業で、保護者（一般向け）・地域向けのパンフレット「共につくろうかめやまの未来」を作成した。このパンフレットを活用し、公民館等での出前講座で地域への男女共同参画の啓発を行うこととした。

10 月－12 月に 3 回の出前講座を実施した。来年度は、5 回の開催を予定している。

また、事業の過程で新しい市民グループ「アクティブ亀山」が誕生し、協働体制が強化された。次年度予定の「企業懇談会」の運営には、この体制にみえネットが協力することとした。

みえネットの応援内容

- ・啓発パンフレット
「共につくろうかめやまの未来」作成協力支援（10000部）
- ・事業チラシ作成（1000部）
- ・関係者懇談会会場設営（縦横看板作成、生花、湯茶コーナー設置）
- ・みえネット作成パネルの展示
- ・関係者懇談会運営協力（受付、司会、ファシリテーター等）



第 1 回関係者懇談会

日時：2012 年 5 月 21 日 14:00-15:30

場所：亀山市市役所

内容：みえネット事業趣旨・経過説明、参加者自己紹介、亀山市の経過と取組提案、参加者による応援提案等意見交換、今後のスケジュール

参加者：いどばたクラブ、津アイリス、亀山市男女共同参画審議会委員、特別老人ホーム華旺壽、亀山茶農業、三重大学男女共同参画推進室、亀山市共生社会推進室、三重県男女共同参画・NPO課、フレンテみえ、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：24名

平成24年度男女共同参画講座、第2回関係者懇談会

日時：2012年12月15日 13:00-16:00

場所：亀山市 総合保健福祉センター

内容：第1部

13:00-13:45 講演会 演題「男女が生き生き輝くまちづくりを目指して」
講師 石阪督規 准教授 東京未来大学

13:50-14:50 ワールドカフェ テーマ「心ゆたかなくらし」

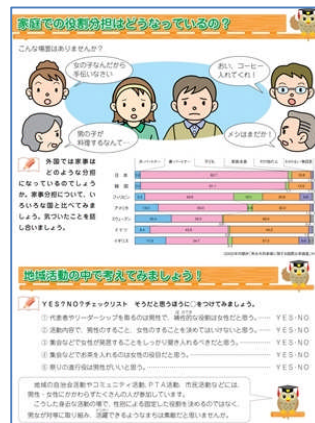
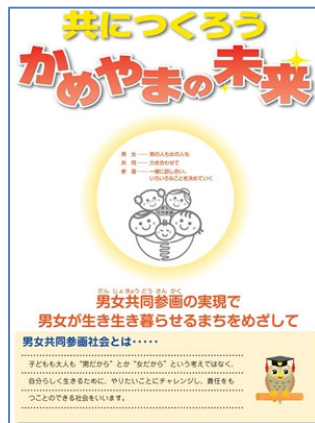
第2部

15:00-16:00 第2回関係者懇談会 取組報告

参加者：いどばたクラブ、特別老人ホーム華旺壽、古川電工、西部地区・関・中部・北部民生委員児童委員協議会、三重県男女共同参画・NPO課、フレンテみえ、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：51名

啓発パンフレット「共につくろうかめやまの未来」



- ・ラップアップフォーラム発表
- 発表題：「亀山市取組事業報告」
- 発表者：亀山市共生社会推進室 西秀人室長
- ：アクティブ亀山 代表 佐野孝子さん



- ・事業の振返りと副市長との懇談（平成25年2月25日）
 亀山市担当者、みえネットが本協働事業の振返りを行い、来年度への展望を話し合った後、亀山市副市長へ事業報告を行い懇談した。



＊亀山市の「成果と課題」

○成果

- ・地域に向けた啓発のためのツールとしてのパンフレットを作成し、市内の公民館講座で活用した。（10000部）
- ・新しい市民グループ「アクティブ亀山」が誕生し、協働の体制が強化された。



「アクティブ亀山」メンバー

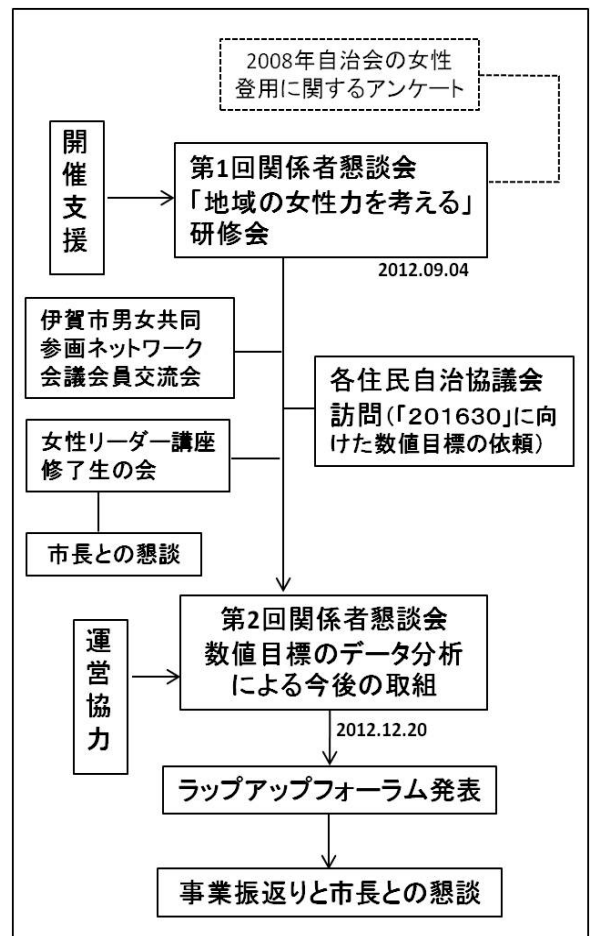
○課題

- ・啓発のツールとして作成したパンフレットの計画的で効果的な活用。

(3) 伊賀市

取組課題：住民自治協議会への女性の参画を進める

伊賀市は、住民自治協議会における運営委員会委員への女性登用の促進を課題とし、各住民自治協議会へのアンケートを実施した。また、アンケートの集計結果報告と共に女性登用と「女性登用率の数値目標」の設定を依頼した。他部署の協力を得て、各住民自治協議会を訪問した。また、伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会員交流会や女性リーダー養成講座修了生の会において、地域における女性の参画について意見交換を行った。第1回関係者懇談会のあと、研修会「地域の女性力を考える」を開催（講師は、元三重大学の石阪督規 准教授）地域における女性の力の影響力や重要性について研修した。アンケート調査、研修会等により、意識啓発が進み、新しく出来た「伊賀市男女共同参画センター」を中心とした活動が展開された。更に、市民（伊賀市男女共同参画ネットワーク会議



会員等)との協働体制も確立した。

伊賀市は、「201630」にむけた女性参加率の数値目標を掲げ、今後も取り組む。

男女共同参画みえネットは、今後も伊賀市の連携協働を促進し「新しい公共」を応援していくこととした。

みえネットの応援内容

- ・「地域の女性力を考える会」研修会開催支援
- ・事業チラシ作成(1000部)
- ・関係者懇談会会場設営(縦横看板作成、生花、湯茶コーナー設置)
- ・みえネット作成パネルの展示
- ・関係者懇談会運営協力(受付、研修会講師送迎等)

第1回関係者懇談会

日時：2012年9月4日 13:30-16:30

場所：伊賀市ゆめポリスセンター

内容：

13:30-14:20 第1回関係者懇談会

みえネット事業趣旨・経過説明、参加者自己紹介、伊賀市の経過と取組提案、参加者による応援提案等意見交換、今後のスケジュール

14:30-15:30 「地域の女性力を考える」研修会

15:35-16:05 質疑応答

参加者：住民自治協議会(三田、上野南部、きじが台、阿波、山田)、まちづくり協議会(玉滝、壬生野、柘植、島ヶ原)、島ヶ原公民館、伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会員(12団体)、伊賀市男女共同参画課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど

参加人数：75名

第1回関係者懇談会

「地域の女性力を考える」研修会



第2回関係者懇談会

日時：2012年12月20日 13:00-16:00

場所：ハイトピア伊賀

内容：「住民自治協議会等運営委員会委員の女性登用率の数値目標」と今後の取組みについて

参加者：伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会員、クローバーの会会員、伊賀市人権政策・男女共同参画課及び市民活動推進課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど

参加人数：27名

- ・ラップアップフォーラム発表
発表題：「伊賀市事業総括報告」
発表者：伊賀市人権政策・男女共同参画課 大橋久和課長
伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
会長 大仁田富美子さん
機器操作：伊賀市人権政策・男女共同参画課
河野慶子係長



発表スライド

2015年度末女性登用率は10%の開きがある
伊賀市の目標数値 **30%** → 住民自治協議会の目標数値 **約20%**

その理由は・・・(住民自治協議会からの意見)
・地域性の問題⇒地区の行事や付き合いのわずらわしさ、地区役員の輪番制に窮屈さを抱き、地区外へ出て行く成年層が増加。地区内に残るのは高齢者ばかりになり、自ずと女性の参画は難しい。
・運営委員会の構成員が各地区の自治会長となっているところがあり、女性が自治会長に選ばれなければ、運営委員に登用されることはない。
⇒そもそも女性が登用されるシステムになっていない！

伊賀市の女性力の現状は？(平成24年4月1日現在)
■市における女性登用
審議会等委員の女性登用率 30.4%
市女性管理職の割合 31.6%
202030の目標を既に達成！ **一方で・・・**
■地域における女性の参画
住民自治協議会運営委員会の女性参画率 ... 12.6%
自治会長の女性登用率 1.1%
これは非常に低い数値です！

第1回「地域の女性力を考える会」
9月4日(火)13:30～16:30 場所:ゆめぼりすセンター

第1部 伊賀市関係者懇談会(伊賀市からの提案)
テーマ「もっと活かして！地域の女性力」
第2部 研修会「もっと活かそう！地域の女性力」
講師:石坂 督規さん

出席者 住民自治協議会関係者、伊賀市男女共同参画ネットワーク会議委員、女性リーダー養成連続講座修了生、男女共同参画推進サーター、男女共同参画みえネット、県男女共同参画・NPO室、伊賀市人権政策・男女共同参画課 合計75人

【懇談内容】
・地域活動と家庭との両立が難しい、女性の声を聞いてくれる場がないなど、時間的理境的な問題ある。
・登用の機会を与えられたら、女性も引き受ける勇気を！
・女性が活躍している地域の事例を聞き、「女性が参画すると地域は活性化すること」を学んだ。
自治協運営委員会委員女性参画率「201630」というゴールに向かって、キックオフ！！

第2回「地域の女性力を考える会」
12月20日(木)13:30～15:00 場所:ハイトピア伊賀

伊賀市関係者懇談会(まとめ)
テーマ
「住民自治協議会等運営委員会委員の女性登用率の数値目標」と今後の取組について

出席者:伊賀市男女共同参画ネットワーク会議委員、女性リーダー養成連続講座修了生、男女共同参画推進サーター、男女共同参画みえネット、県男女共同参画・NPO室、伊賀市人権政策・男女共同参画課 合計27人

住民自治協議会側の目指す目標と女性登用の進まない理由が明らかになりました！！

10%の差を縮めるには!

- ①住民自治協議会は、規約の中の委員構成を一度見直してみる。
- ②女性リーダー養成連続講座修了生を住民自治協議会に報告し、地域での活動の機会を作ってもらおう。
- ③女性側も役員登用に「イエス！」を！

ゴール「201630」にシュート!!

- ・事業の振り返りと市長との懇談(平成25年3月15日)
伊賀市担当者、みえネットが本協働事業の振り返りを行い、来年度への展望を話し合った後、伊賀市長へ事業報告を行い懇談した。



＊伊賀市の「成果と課題」

○成果

- ・必要性を感じながらも取組にくかった課題を「みえネット」との協働により思い切って進めることが出来た。
- ・「201630」に向けた数値目標を示したことにより、具体的な推進計画が可能となった。
- ・人財のネットワーク形成が進んだ。

○課題

- ・人財ネットワークを活用した、本計画に基づく事業の継続

(4) 伊勢市

取組課題：企業との連携で男女共同参画を進める

伊勢市は、企業との連携で男女共同参画を進めることを課題とし、特に「企業と働く女性」に焦点をあて、「働く女性の活躍」の促進を目指した。7月には市内の事業所に、アンケートを実施し、企業向け講演会に報告した。企業向け講演会は、「女性の一步が扉を開く～三重の働く「なでしこ」大作戦～」をキャッチフレーズに、「働く場における男女共同参画の推進」、「企業の意思決定の場への女性登用促進」、「事業主及び女性の意識改革」を目指し開催した。講演は、「会社の中で女性を活かす方策」をテーマに、講師（万協製薬（株）社長松浦信男氏）、で開催された。また、講演会后、企業で働く男女をパネリストとしてトークセッション「井戸端会議 with パネラー」を行い、会場の方々と共に、働く場における女性の意思決定の場への登用推進について意見交換が行われた。

事業をきっかけに、市内における女性人財が再結集され新たな取組体制が確立された。また、市内企業への訪問や広報紙への掲載をはじめ、この事業を通して企業とのネットワークが構築された。男女共同参画みえネットは、今後とも、伊勢市における「新しい公共」を応援するとともに連携協力を促進する。

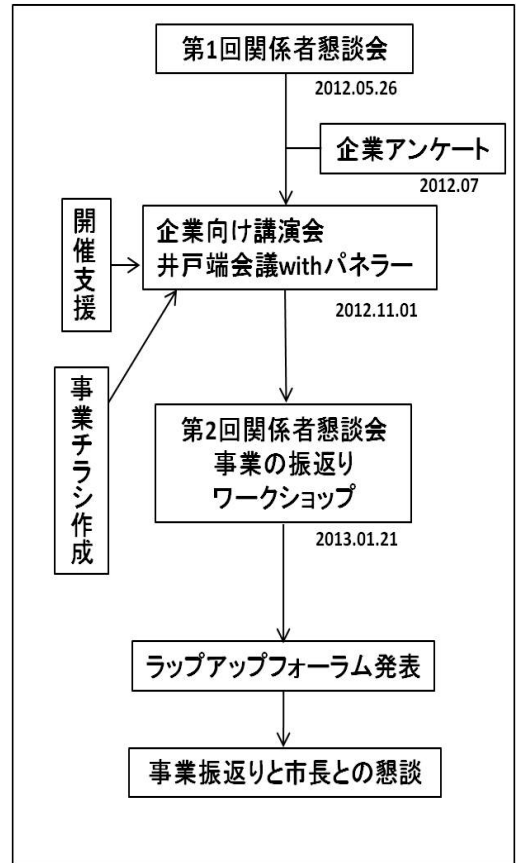
みえネットの応援内容

- ・事業チラシ作成（1000部）
- ・講演会と井戸端会議の開催支援、運営協力
- ・関係者懇談会会場設営（縦横看板作成、生花、湯茶コーナー設置）
- ・みえネット作成パネルの展示
- ・関係者懇談会運営協力（受付、機器設営等）

第1回関係者懇談会

日時：2012年5月26日 13:00～15:30

場所：伊勢商工会議所



内容：みえネット事業趣旨・経過説明、参加者自己紹介、伊勢市の経過と取組提案、参加者による応援提案等意見交換、今後のスケジュール

参加人数：55名

参加者：伊勢市社会福祉協議会、伊勢市女性団体連絡協議会、男女共同参画れいんぼう伊勢、NPO法人伊勢まごころ、伊勢市ボランティア連絡協議会、審議会委員、市議会議員、伊勢市ボランティア連絡協議会、いきがい支援「共生き」塾、JA伊勢女性部、(株)山野建設、CSGコンサルタント(株)、(株)マスマグループ(株)エムケイ・コーポレーション、三重県男女共同参画・NPO室、男女共同参画みえネットなど、

ワークショップ



第1回関係者懇談会



講演と井戸端会議『女性はもう一步！働く場で、家庭へ、地域へ』

日時：2012年11月1日 13:30-16:00

場所：伊勢市生涯学習センターいせトピア

参加人数：88名

アンケート結果：「良かった」96%

「社員第一主義に共感した、挑戦してみたい」、「女性の成長を期待されている。私たちが女性自身がやる気になった」



左上：講演「会社の中で女性を活かす方策」

講師 万協製薬(株)松浦社長

上：パネルディスカッション

「あなたの一步で職場が変わる」

左：会場風景

第2回関係者懇談会

日時：2012年1月21日 13:30-15:00

場所：三重県伊勢庁舎

内容：懇談会テーマ①取組み事業の振り返り、②今後に向けた取組み（ワークショップ）、まとめ

参加者：審議会委員、男女共同参画れいんぼう伊勢、(株)エムケイ・コーポレーション、NPO法人伊勢まごころ、(株)マサグループ

三重県男女共同参画・NPO室、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：29名

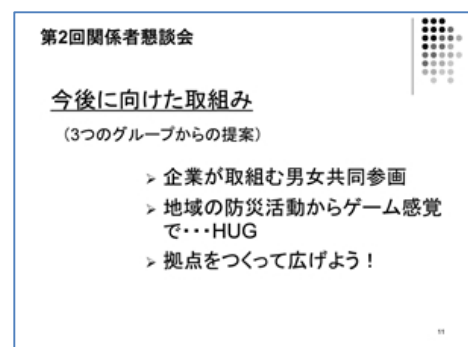
・ラップアップフォーラム発表

発表題：「事業報告 伊勢市」

発表者：伊勢市市民交流課 鈴木光代副参事
れいんぼう伊勢代表 山川一子さん



発表スライド



・事業の振り返りと市長との懇談（平成25年3月11日）

伊勢市担当者、みえネットが本協働事業の振り返りを行い、来年度への展望を話し合った後、伊勢市長へ事業報告を行い懇談した。



*伊勢市の「成果と課題」

○成果

- ・企業とのつながりが出来た。
- ・人財の再結集が図られ、新たなネットワークが形成された。

○課題

- ・今回形成されたネットワークを活用した事業の推進。

(5) 志摩市

取組課題：地域に向けた意識啓発

志摩市は、第1回関係者懇談会で提案された「地域に向けた意識啓発」を課題とした。

具体的なテーマは、①「女性が意思決定の場へ参画する必要性の啓発」、②「行動につながる積極性を引き出す」とし、講演会を1回、講演会に付随する座談会（カフェ形式）を1回又は複数回開催することとした。事業企画の為の実行委員会を立ち上げ5回にわたって開催し、講演内容、開催方法、運営方法について企画した。

この講演会は、社会学者上野千鶴子さんを講師に迎え、「意思決定の場へもっと女性を！」という演題で開催され、「意思決定の場への女性参画」の必要性を市民や企業関係者等広範囲に発信することが出来た。さらに、講演会后「おしゃべりカフェ」を2回開催し、講演内容を受けて感想を含めた意見交換をした。

「おしゃべりカフェ」の「まとめ」として、「一歩踏み出す私！」宣言書を作成し、発表しあった。

講演会のみ終わることなく、講演会に関連する意見交換会「おしゃべりカフェ」を開催し、「男女共同参画」に関する認識を深め、参加者間の交流をはかった。また、講演会の企画運営に、市民、企業、行政など多様な主体の連携により「新しい公共」による事業が推進された。とりわけ、企業の参画により男性参加率を大きく上げた。（男性参加率約30%）男女共同参画みえネットは、今後とも志摩市で構築されたネットワークを応援するとともに、事業の推進に協力する。

みえネットの応援内容

- ・ 事業チラシ作成（1000部）
- ・ 講演会開催支援、書籍販売応援
- ・ 関係者懇談会会場設営（縦横看板作成、生花、湯茶コーナー設置）
- ・ みえネット作成パネルの展示
- ・ 関係者懇談会運営協力（受付、司会進行等）

第1回関係者懇談会

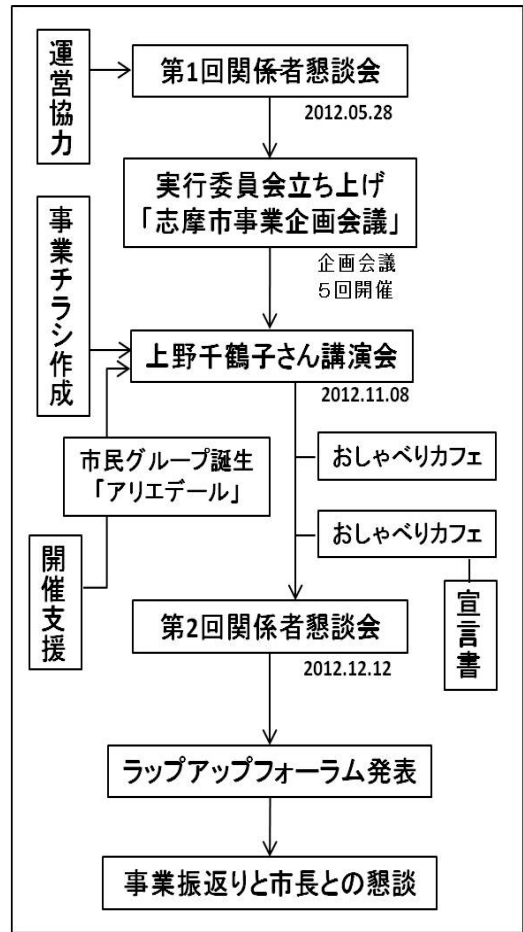
日時：2012年5月28日 19:00-20:30

場所：志摩市役所

内容：みえネット事業趣旨・経過説明、参加者自己紹介、志摩市の経過と取組提案、参加者による応援提案、意見交換、今後のスケジュール

参加者：志摩市人財、志摩環境事業共同組合、(株)山本建材、フレンテみえ、三重大学男女共同参画推進室、志摩市企画政策課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：20名



第1回関係者懇談会



上野千鶴子さん講演会「意思決定の場へもっと女性を！」

日時：2012年11月8日 19:00-20:30

場所：志摩市阿児アリーナ

参加人数：307名

アンケート結果：「内容について、よく理解できた・理解できた」89.6%
「参加して、非常によかった・良かった」89.6%

上野千鶴子さん講演会「意思決定の場へもっと女性を」



新しい公共のづくりのためのモデル事業
「意思決定の場への女性の参画」促進プログラム

私がやらなきゃ誰がやる！？ ～一歩踏み出す私へ～

もちろん男性も大歓迎！

♪おしゃべりカフェへのお誘い♪

日 時 ①11月10日(土)13:30～15:30
②11月16日(金)19:00～21:00
(2回とも同じ内容です。どちらかの回へご参加ください。)

会 場 志摩市阿児アリーナ ミーティングルーム **参加無料です♪**

内 容 11月8日の上野千鶴子さん講演会を聞いて感じたことや、志摩市がこれからどうやって地域や企業、家庭など意思決定の場への女性の参画を促すために何をしたらいいか、などなどについて、お茶やお菓子などを飲みながら、カフェの雰囲気の中で楽しくワイワイ話します！
「お友達と一緒にいきたい！」「意見は言えないけど、みんなの意見を聞いてみたい」など、どんな方も歓迎します！また、新しい出会いのチャンスです！
一歩踏み出して参加してみませんか♪ **お気軽にどうぞ♪**

参加を希望される方は、下記の申込書に必要事項を記入のうえ、受付のスタッフにお渡しください。
※ 申込みは、当日提出できなくても構いません。開催日までに、志摩市役所企画政策課へ
TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252
e-mail: kaku@city.shima.lg.jp のいずれかの方法で申込みください。

＜ おしゃべりカフェ 参加申込書 ＞

氏の名		参加希望日 (希望する日〇を)
お名前		①11月10日(土) 13:30～
参加人数	名様	②11月16日(金) 19:00～
ご連絡先	()	

※ ご記入いただきました個人情報は、イベントに関する連絡のために使用させていただきます。なお、お振りのりした個人情報は、個人情報保護法に基づき厳密に管理いたします。



左：「おしゃべりカフェ」チラシ
上：「おしゃべりカフェ」風景

第2回関係者懇談会

日時：2012年12月12日 13:30-15:00

場所：志摩市阿児アリーナ

内容：参加者自己紹介、経過説明と振り返り、まとめ、今後のスケジュール

参加者：志摩市人財、志摩環境事業共同組合、(株)山本建材、立神真珠養殖漁業協同組合、志摩市企画政策課、三重県男女共同参画・NPO課、男女共同参画みえネットなど、

参加人数：17名

・ラップアップフォーラム発表

発表題：「私がやらなきゃ誰がやる！？

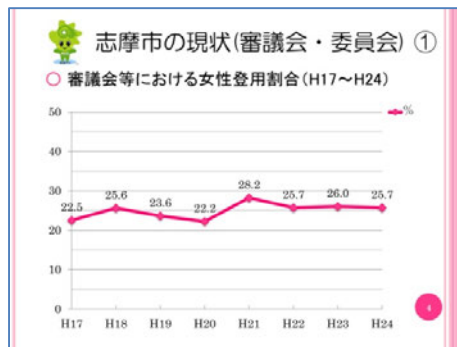
～一步踏み出す私へ～」

発表者：志摩市企画政策課 中嶋紫織さん

志摩市事業企画会議メンバー 濱口早紀



発表スライド



以上のことを踏まえて…

市民への意識啓発を積極的に行っていく必要性

- ★ 意思決定の場への女性の参画促進の必要性を認識できる事業

+

- ★ 女性側の積極性を引き出す＝その後の行動につながる事業

志摩市事業の企画・運営にあたって…

志摩市事業企画会議の開催

メンバー:

志摩市人財

- 志摩市男女共同参画推進懇話会委員
善積智子さん、田畑珠美さん
- 志摩市女性の会連合会 北井美智子さん
- 三重県男女共同参画推進サポーター
相田めぐみさん、加藤玲子さん
- アトリエエレマン・プレゼン 佐藤敬子さん
- 竹内千鶴さん
- 濱口早紀さん

志摩市企業

- 志摩環境事業協業組合 松井靖子さん
- 株式会社山本建材 山本久代さん
- 立神真珠養殖漁業協同組合女子部のみなさん

志摩市はこれから…

今回の事業で得た各個人の小さな「気づき」と人の「輪」を核に、市民と行政が2人3脚で202030の実現を目指した、より具体的な取り組みを行っていきます！

ご清聴ありがとうございました。

- ・事業の振り返りと市長との懇談（平成25年3月4日）
志摩市担当者、みえネットが本協働事業の振り返りを行い、来年度への展望を話し合った後、志摩市長へ事業報告を行い懇談した。



＊志摩市の「成果と課題」

○成果

- ・志摩市が提示した明確な計画に沿って着実に進めることが出来た。
- ・新しい市民グループ「アリエデール」が誕生した。
- ・企業、行政、市民の協働体制が確立した。

○課題

- ・新しいグループを含めた市民との協働を一層進める。

- ⑩ 各市第2回関係者懇談会を開催。（平成24年12月-平成25年1月）
第2回関係者懇談会については、志摩市開催（12月12日）に続き、亀山市、四日市市、伊賀市、伊勢市（平成25年1月21日）と順次開催した。また、四日市市、亀山市については、市の事業とセットで実施した。
取組事業の振り返りと今後の取組についての意見交換を行った。具体的には、5市ともに平成25年度の事業発展に関する提案がなされ、本事業をきっかけとする来年度の具体的な事業について意見交換が行われた。

第2回関係者懇談会例：伊勢市

伊勢市
第2回伊勢市関係者懇談会
三重の働く「なでしこ」大作戦

- ・取組事業振り返り 11月1日開催の「講演と井戸端会議 withパネラー」について
- ・今後に向けた取組

平成25年1月21日(月)13:00 - 15:30
三重県伊勢庁舎 1F 101会議室



伊勢市
奥野参事












集合写真

- ⑪ ラップアップフォーラム（事業総括報告会）開催（平成25年1月26日）
本事業の取組総括を行い、各市の事業の成果や平成25年度への展望について、情報を共有する場として、関係者を中心に県民の参加を得て「寄ってたかって」取りまとめるラップアップフォーラムとした。



みえネットの事業総括報告に続き、5市の取組発表は、市の担当者と事業に参画した市民の方で行われた。

終日の開催により盛大に行われ、延べ参加者数は166人であった。

- ・日時：平成25年1月26日 10:00～16:00
- ・みえネットによる協働事業報告
- ・5市取組発表
- ・講演：演題「新しい公共による男女共同参画の推進～市民と行政の協働の在り方を考える～」
講師 四日市大学 総合政策学部長 松井真理子教授
- ・シンポジウム：「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」

コーディネーター：三重大学准教授 内山智裕さん

アドバイザー：松井真理子さん

シンポジスト：

伊藤佳代さん 四日市市男女共同参画課 課長

善積智子さん 志摩市男女共同参画推進懇話会委員

竹内文子さん 伊賀市男女共同参画ネットワーク会議

松浦信男さん 万協製薬株式会社 代表取締役社長

- ・ワークショップ：テーマ「202030に向けたわが町の『2013年度の具体的展開』」



⑫ 5市訪問による事業の振り返りと市長との懇談（平成25年2月～3月）

市担当者と事業を振り返り、成果と課題を整理し次年度以降の更なる事業展開について、意見交換をした。

また、市長を訪問し事業終了の報告と「202030」に向けた「意思決定の場への女性の参画」に関する懇談を行った。

⑬ 事業実績報告書及び事業報告書の作成（平成25年3月29日事業完了）

事業の実施にあたり、5市への訪問をはじめ、みえネット世話人会議、県との連絡調整会議等、諸会議は100回を超え、きめ細かい連絡調整を図り、関係者間の連携を深めた。これら事業の全容について、報告書としてまとめることとした。



表紙には、5市の事業内容の写真を掲載し、本文は事業の全容を掲載した。総ページ数90ページ、発行部数300部を印刷し、この事業に関わった多くの方々や関係機関、5市をはじめ県内29市町等に配布し、事業完了を報告した。この「事業報告書」は、次年度への発展に繋がるツールでもある。



●多様な主体による連携協働

本事業は、多様な主体との連携協働によって進める事業である。とりわけ「男女が生き生きと働いている企業」知事表彰受賞企業、これまで県、市において育成された女性「人財」の参画を得て、「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を進めようとした。また、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」との協働により、「フレンテまつり」、「フレンテフォーラム」に参加し、ポスター展示、ワークショップ開催など、事業の経過や成果について広く県民に周知、アピールした。

<企業との連携>

企業においては、本事業の全期間を通して、「男女が生き生きと働いている企業」知事表彰受賞企業を中心に各市の企業の協力を得た。また事業終了後、協力企業との懇談会を実施した。

・事業の期間を通しての協力企業

万協製薬（株）…キックオフセミナーパネリスト、伊勢市講演会講師、ラップアップフォーラムパネリスト

伊藤印刷（株）…本事業の印刷物協力

山本建材（株）…志摩市事業における事業企画会議に参画し、講演会のPR等に協力

志摩環境事業協業組合… 同上

立神真珠養殖漁業協同組合… 同上

・伊勢市の事業への協力企業

（株）マスマグループ…伊勢市事業におけるパネリスト

（有）松本宝飾… 同上

（株）堀崎組… 同上

・各市の事業への協力・参加企業等

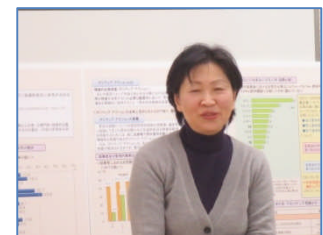
（財）食品分析開発センターサナテック、特別養護老人ホーム華旺壽、古川電気工業（株）、（有）くろべ、CSGコンサルタント（株）、（株）エムケイ・コーポレーション、（株）山野建設、JA伊勢、（株）百五銀行、マックスバリュ中部（株）、



上段左から「万協製薬（株）」、「山本建材（株）」、「志摩環境事業協業組合」
下段左から「(財) 食品分析開発センターサナテック」、「伊勢市事業参加企業」

<女性の「人財」の見える化>

各市で「人財」の掘り起こしと再結集をはかり地域で活動している市民、各市の事業において、挨拶、司会進行、ファシリテーター、シンポジスト等の活躍があった。



<三重県男女共同参画センター等との連携>

- ・三重県における男女共同参画推進の拠点施設である「三重県男女共同参画センターフレンテみえ」と事業の全期間を通して連携した。
- ・フレンテみえが開催する「フレンテまつり」、「フレンテフォーラム」においてポスター展示、ワークショップなど開催し県民に発信した。
- ・「情報紙フレンテ」において、事業の内容を掲載し、本事業の経過や成果について広く県民に周知し、全県へ発信するなどの協力を得た。
- ・各市事業、ラップアップフォーラム等においてファシリテーターをはじめ、運営に関わる協力を得た。
- ・本事業の協働市四日市市、伊賀市の男女共同参画センターにおいては、各種事業の中で、また情報紙の記事として、本事業の経過や成果について取上げ、各市民に発信した。

情報誌掲載例：四日市市「はもりあ」

**意思決定の場への女性の参画 促進応援プラン
女性も主役になろう！ 身近な自治会からゴー！**

国の第3次男女共同参画基本計画でも、地域力を高めるために、誰もが活躍と密着所のある地域社会を形成していくことが重要であり、地域力を高め、持続可能な社会を築くには、地域における男女共同参画が不可欠であるとされています。

四日市市では、三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」の地域リーダー養成講座 演義・座談による実践プログラム in 三重に参加した有志と職員で、「意思決定の場へ女性の参画を促す」という課題の解決のための企画を立案し、24年度の発表に向けて準備を進めています。

【女性自治会長の声を聞く】
第1段階として、自治会長に女性が少ない実態を確認するために、実態調査をしました。
四日市市には、平成23年4月1日現在で、19人の女性自治会長さんがいらっしゃいます。今回は、自治会長になった理由、女性だからできたこと、女性だから難しいことなどについて、1月～2月にかけて、川島、南勢、三重地区の女性自治会長さんに集まっていただき、話し合いの場を持ちました。「女性だからといって難しいことはない」「女性だから親近感があって話しやすい」「他の女性の協力があつた」という意見がある一方、「家庭にしろ働きが来る」「夫の協力がないとできない」との意見もありました。

【専任座談会を開催します！】
第2段階として、地域の女性を招いて、座談会形式で気軽に話していただける場を設けます。
地域にお住まいの方、近隣地域にお住まいの方、ぜひご参加ください。
3月18日(日) 13時30分～15時00分 常盤地区市民センター 調理室
4月開催予定（日未定） 三重地区市民センター
●●申込み、問合せは「はもりあ四日市」まで●●

**新しい公共の場づくりのためのモデル事業「意思決定の場への女性の参画 促進応援プラン
女性も主役になろう！ 身近な自治会からゴー！2**

【専任座談会を開催しました！】
「はもりあ」44号で、3つの地区の女性自治会長さんとの懇談会について報告しましたが、今回は座談会のご報告です。第2回として、地域の女性を招き、女性の自治会長さんらと懇談会形式で気軽に話していただける場を設けました。3月18日(日)には常盤地区市民センターで18名、4月18日(木)には三重地区市民センターで15名の方にご参加いただき話し合いをしました。

自分が性む「まち」のあり方を決めるときに自治会の役員になぜ女性が少ないのか？その理由として、平成15年に実施した三重県の調査結果 常盤地区市民センターから、①昔からこの方法でやっている(65.3%) ②女性は引き受けたがらない(26.5%) ③自治会長を退任した女性が多い(18.3%)が上位となっているという報告がありました。話し合いの中では、決め方として、男性で経験者から地域に接した人という層の了解があるところがあったり、順番や抽選と比べると比較的女性の自治会長さんが多いようです。女性の自治会長さんとは、地域に入りやすい・住民が安心して話しやすい等の利点もあるという声も聞かれました。

今回の座談会での話を題材にしてモデルづくり、秋頃に第3回として、女性自治会長さんにもご参加いただき、ワークショップを開催する予定です。
◎お楽しみに！◎

三重県男女共同参画センターにおけるポスター展示、ワークショップ



当初計画からの変更点

なし

成果と課題

男女共同参画の推進については、国が進めている「あらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%とする」目標を受け、県・市町も取り組みを進めているが、なかなか進まない現実がある。

そのような現状を何とか進めたいとの使命から、みえネットは「意思決定の場への女性の参画」をテーマに取り組みを進めてきたところ、今回「NPO等からの協働事業に」に採択され、一層の加速に努めることができた。

本事業の趣旨に沿って2年間にわたって、事業を進めてきた。各市における課題を共有すると共に地域の企業等とも連携しながら、「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を目指し、地域の諸課題に取り組む仕組みづくりにつとめた。

協働した四日市市、亀山市、伊賀市、志摩市、伊勢市は、それぞれ異なる課題に取り組む、みえネットは、それに応じた画一的でない支援を行い、共に課題解決にむけて取り組んだ。5市担当者との懇談の中で「取り組みたいと考えていた課題に、本事業の後押しで具体的に取り組むことができた」との共通した意見が出された。

また、他市町への波及効果を目指すとともに、これらの事業のプロセスとその成果を迅速に県民に発信した。

●取り組みの成果

1. 本事業を実施により、女性の登用が進み、審議会委員については3市において30%を超えた。波及効果として他市において、同様の傾向がみられ、県全体として「202030」の目標に迫ることができた。
2. 本事業の実施過程において、志摩市では、「アリエデー」、亀山市では、「いど

「ばたクラブ」が発展して「アクティブ亀山」という市民グループが誕生し、今後の活動の基礎ができた。また、伊勢市においても新たな市民参加の体制ができた。

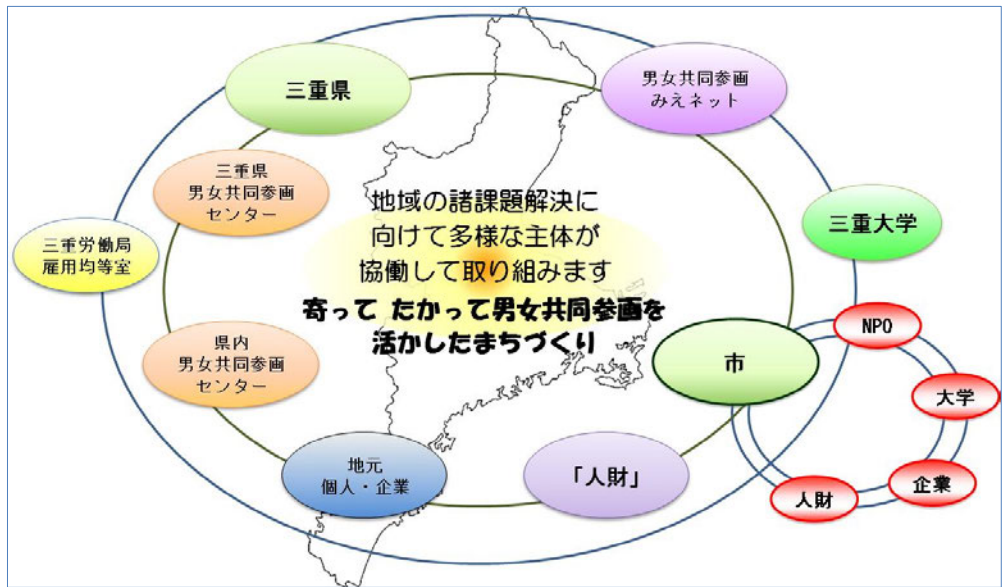
3. 「事業パンフレット」および「事業ロゴ」を作成し、2 年にわたって様々な場面で活用した。新しい公共や事業の趣旨、スケジュール、実施体制等、事業全体の内容を明示したことにより、市町をはじめ関係者の正しい理解と共通認識のもと効果的な事業展開をすることができた。

4. 「事業パンフレット」、「事業ロゴ」作成のほか、各市「共通チラシ」を作成し、効果的ツールとして活用した。

共通フォームによるチラシを提供し、各市版のチラシを作成することによって、本事業への参加の一体感と5市事業の独自性を表示し、効果的なツールとなった。チラシは、A4サイズ両面カラー印刷とした。表面は、5市共通のフォームとし、各市事業の特徴を表現した。裏面は、各市の事業内容（研修会、講演案内など）の詳細について記した。

パンフレットに示した「みえネット」の実施体制は、各市においても同様の体制が作られネットワークが形成された。

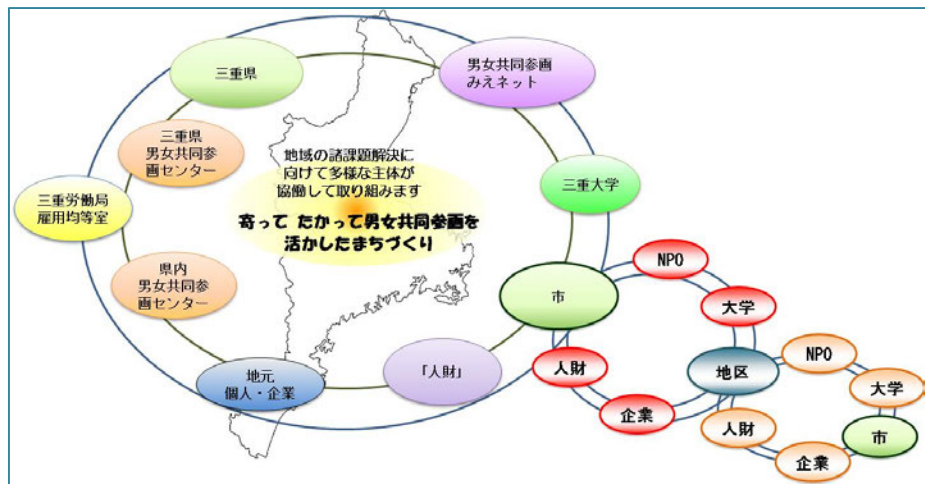
5市で構築された体制



具体的事例（四日市市）

四日市市においては、「四日市男女共同参画研究所」との連携により、ネットワークが「市」から「地区」レベルまで広がり、以下のような体制が構築された。

四日市市の例



2. 各市において「人財」の掘り起こしと再結集が図られ、新たな取り組み体制が確立された。

3. 「男女がいきいきと働いている企業」知事表彰受賞企業を中心として連携し、受賞企業以外の企業へと広げ、企業との協働を進め、効果的な事業実施体制ができた。

●課題

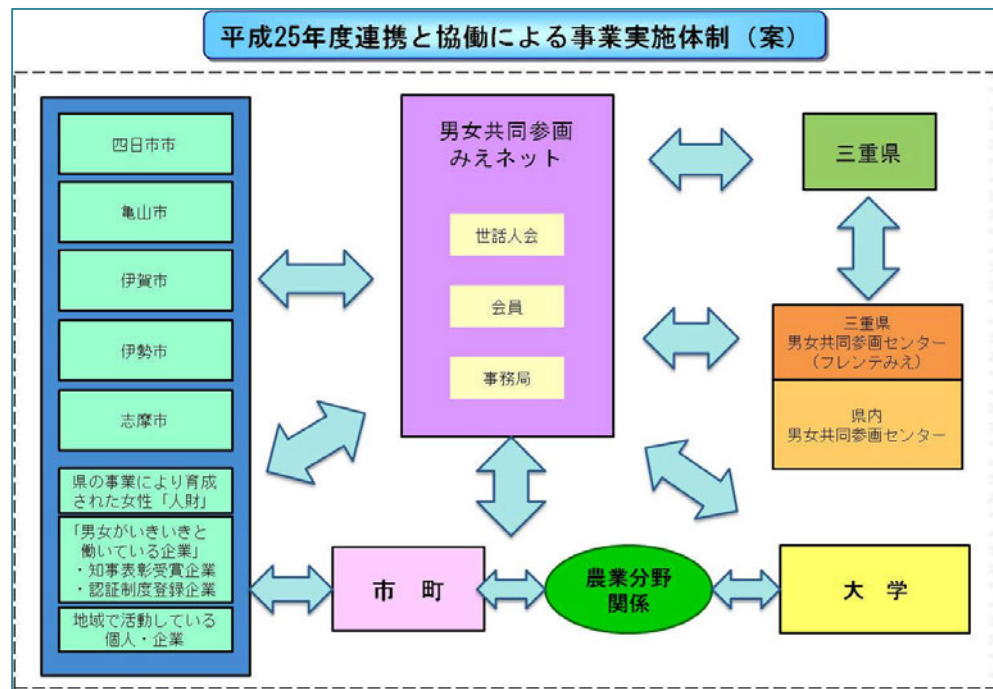
1. 事業を実施した5市に対する継続的支援を行う。

2. 5市の特色ある事業をさらに精査し、モデル事業として取りまとめ紹介する。県内の「202030」の早期実現に向けて、本事業により明らかにされた課題を整理し、今後の取組みにつなげる。

- ①事業報告書を活用し、様々な機会に取組内容を報告する。
 - ②5市の事例をモデルとして取りまとめる。
 - ③5市との連携を継続しつつ、5市以外の市町へも広げていく。
 - ④「農村地域」、「町」におけるモデルづくりを新たな課題として取り組む。
- ・四日市市や伊賀市のアンケート調査結果や各市の関係者懇談会から、「農山漁村へのアプローチの必要性、町のモデルづくり」が課題として見えてきた。平成25年度は、「農業分野」、「町」を対象として多様な主体との連携協働によるモデルづくりに取り組んで行くこととする。

平成25年度実施体制（案）

平成25年度
以降の見通し



2 成果の達成状況等

平成 24 年度に達成しようとする成果	①ネットワークの構築 ②5市における市町モデル事業の構築		
具体的な指標の達成状況等	項 目	当初目標設定	平成 25 年 3 月末の達成状況
① 市町連携数		目標値 (18 市町) / 現状 (14 市町)	15 市町
② 事業共同実施市町数		目標値 (6 市) / 現状 (なし)	5 市
③ 企業連携数		目標値 (10 社) / 現状 (2 社)	18 社
④ 事業参加者数 地域開催 人財育成事業		目標値 (30~40 人) / 現状 (なし)	四日市市関係者懇談会 第1回関係者 32人 第2回関係者 37人 亀山市関係者懇談会 第1回関係者 24人 第2回関係者 51人 伊勢市関係者懇談会 第1回関係者 55人 第2回関係者 29人 志摩市関係者懇談会 第1回関係者 20人 第2回関係者 17人 伊賀市関係者懇談会 第1回関係者 75人 第2回関係者 27人
⑤ 事業参加者数 地域開催 啓発事業		目標値 (100 人) / 現状 (なし)	伊賀市研修会 75人 志摩市講演会 307人 四日市市研修会 52人 伊勢市講演会 88人 亀山市講演会 51人
⑥ 事業参加者数 ラップアップフォーラム		目標値 (100 人) / 現状 (なし)	午前の部 96人 午後の部 70人
⑦ 事業参加者数 男女共同参画フォーラム 2012		目標値 (50 人) / 現状 (40 人)	40 人
成果指標の達成状況			
① 市町連携数 本事業を希望する市を中心に訪問したため、目標値には達しなかったが、その他の市町については、平成 25 年度以降に持ち越すこととした。 ② 事業共同実施市町数 2012 年 3 月時点では、6 市との協働を決めていたが、2012 年度に入り、1 市辞退となり、5 市となった。 ③ 企業連携数 全体事業 (キックオフセミナー、ラップアップフォーラム)、5 市の事業 (関係者懇談会、市実施事業) への参加で、目標は達成した。			

	<p>④ 事業参加者数 地域開催 人財育成事業 関係者懇談会の参加人数は、367人であり、目標は達成した。また、上記記載のほか、四日市市、伊賀市の車座懇談会等の参加者は、72人あり、合計439人であった。 志摩市では、「アリエデール」、亀山市では、「いどばたクラブ」が発展して「アクティブ亀山」という市民グループが誕生し、今後の活動の基礎ができた。また、伊勢市においても新たな市民参加の体制ができた。</p> <p>⑤ 事業参加者数 地域開催 啓発事業 地域開催の啓発事業参加者は、講演会、研修会合わせて573人であり、目標は達成した。また、上記記載のほか、志摩市において2回開催された小規模の懇談会の参加者が23人あり合計596人であった。</p> <p>⑥ 事業参加者数 ラップアップフォーラム 参加者数は達成できた。 終日にわたる開催であったが、参加者の主体的参加により終始熱気にあふれていた。</p> <p>⑦ 事業参加者数 男女共同参画フォーラム2012 目標値を下回ったが、県内広域からの参加があり、事業を広く周知することが出来た。</p>
	<p>達成に向けて行った工夫 または 未達成の原因及び講じた改善策</p> <p><工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同実施5市との綿密な打ち合わせ（担当者、関係者（活動団体）） ・「企業との連携」を取組課題としている伊勢市や従来から企業と連携している志摩市など、本事業への参加により、企業との連携をさらに拡大し一層緊密にした。 ・市との打合せ会議を活用するなどして、企業との懇談会を実施した。 ・事業実施後、ともに事業を振り返り今後の課題や目標を共有するために、5市を訪問し、担当者と懇談した。 ・実施事業について、5市の市長（副市長）を訪問し、事業完了の報告と「202030」に向けた「意思決定の場への女性の参画」の取組みについて懇談した。 <p><未達成の原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働実施5市の訪問に多くの時間を費やしたため、他の市町への訪問が進まなかった。 <p><改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の周知に関しては、県主催の担当者研修会などにおいて今後、本事業の成果を報告することとしている。また、本事業の成果をモデル事業として市町へ紹介する。 ・平成25年度において、本事業の成果を、情報紙「フレンテ」をはじめとした各市の情報誌に掲載し発信していきたい。
<p>現状の 自己評価</p>	<p>評価ランク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価にチェックを付けてください）</p>